青山で郡上おどり30回

雨でも広がる踊りの輪

青山外苑前(振)

港区の青山外苑前商店街振興組合（坂本力理事長）は6月26日、秩父宮ラグビー場駐車場で「第30回郡上おどりin青山」を開催した。梅雨前線の影響で雨となったが、多くの参加者が訪れ、会場には幾重にも踊りの輪が広がった。

「郡上おどりin青山」は、江戸時代に郡上藩主・青山家の下屋敷がこの地にあり、地名の由来となった歴史的な縁をもとに、商店街と郡上八幡観光協会が交流を重ねて始まったイベント。初回は青山家の菩提寺である梅窓院で開かれ、その後、規模の拡大に伴い会場を現在の秩父宮ラグビー場駐車場へ移した。

当日は清家愛港区長も来場し、30回の節目を祝った。会場では商店街が抽選券付きのオリジナル手ぬぐいを販売したほか、郡上八幡の特産品ブースも並んだ。30回を記念した踊りコンテストも行われた。イベントは例年2日間にわたって開催されるが、今年は台風通過予報のため、2日目(27日)は中止とした。

坂本理事長は「1回目は人もまばらで、その後、存続を迷ったこともあったが先々代の理事長が『もうちょっとやってみよう』と踏ん張ってくれた。本当に感謝している」と話す。当時は会場の隅で焼き鳥を焼いていたと照れ笑いを浮かべつつ、「このイベントをきっかけに郡上八幡を訪れる人も増え、今では港区と郡上市が災害時の相互協力や子どもたちの交流事業を行うまでになった。30回でここまで交流の輪が広がった」と喜んだ。

節目を迎えた一方で、神宮外苑地区の再開発に伴う今後の会場確保が課題となっている。坂本理事長は「いまや港区の風物詩としても定着している。この輪をつないでいけるよう、継続できる道を探していきたい」と思いを語った。

雨の中、郡上おどり保存会の生演奏に合わせて踊りの輪が広がった。郡上おどりは多少の雨では中止にしないことでも知られている

開会のあいさつをする坂本理事長

郡上おどりとは

岐阜県郡上市八幡町(郡上八幡)で約400年の歴史を持つ伝統的な盆踊り。日本三大盆踊りの一つとして知られ、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている

商店街では抽選券付きオリジナル手ぬぐいを販売。景品として郡上八幡観光協会提供の宿泊券や物産などが用意された

にぎわいを見せた特産品ブース。アユの塩焼きや名物のハムを目当てに毎年訪れる常連客も多いという

個店の魅力を商店街に

新しい担い手をバックアップ

山下(振)

店頭にて。(右から)和田さん、柴田副理事長、和田巨樹(なおき)さん

東京都が都内の全商店街を対象に実施した「令和7年度東京都商店街実態調査報告書」によると、商店街の強みとして挙げられた回答では「魅力ある個店が多い」が最も多く、4割を超えた。個店の魅力が来街動機につながっている一例が、世田谷区の山下商店街振興組合（三木修理事長）だ。個人経営の店が多く、地元密着型の山下商店街は、新宿から電車で約15分と便利で、その周辺は「住みたい街」としても人気を集めている。組合には若い役員も多く、和食器店「うつわのわ田」の和田明子店主もその一人だ。

和田さんは8年前、生活の場に近い場所で店を開こうと東急世田谷線沿線で物件を探し、縁あって山下商店街に出店した。開業にあたっては自ら組合への加入を申し出たという。「店を始めた頃から商店街の皆さんが何度も顔を出してくださり、気にかけてもらったことがうれしかった」と振り返る。

店内には和田さんが選んだ器が並び、作家の個展も開催している。2021年度には、世田谷区商連の顕彰制度「世田谷キラリ輝く個店グランプリ」で特別賞を受賞した。

現在は理事として、「山下　夏のスタンプラリー」の換金業務を担当するほか、秋恒例の「山下　秋の味覚まつり」や、隣接する豪徳寺商店街と合同で実施している「歳末福引セール」の運営に夫婦で携わる。店舗の経営と並行して「できることは協力したい」と組合活動を支えている。

柴田真希副理事長は、「近隣でも数少ないうつわの専門店ということもあって、開店当初から応援してきた。多くのお客さまを呼んでいただいているので、長く続けてもらえるよう商店街としても支えていきたい」と話す。また、和田さんをはじめ、商店街に新しい担い手が加わっていることにも触れ、「若い人たちが活動に関わってくれて心強い」と語った。

和田さんが選んだ和食器が並ぶ店内

キラキラ橘商店街

「わがまち商店街表彰2026」受賞

経産省
中企庁

墨田区の向島橘銀座商店街協同組合（通称＝下町人情キラキラ橘商店街・鈴木博信理事長）が、一般社団法人つながる橘と連名で、経済産業省・中小企業庁主催の「地域にかがやく　わがまち商店街表彰2026」を受賞した。

「商店街」という場所を生かし、地域活性化につながる取り組みを行う団体等を顕彰する制度で、全国から15商店街が選ばれ、東京都からキラキラ橘商店街が選出された。

キラキラ橘商店街は、「商店・顧客・地域」の「三方よし」に、新たに「地方連携」を加えた独自の「四方よし」を掲げ、その取り組みの第1弾として秋田県鹿角市と連携。イベントの空白期にある5月に同市の観光プロモーション週間を設けて来街者の増加を図ったほか、空き店舗で同市の伝統工芸品や特産品を期間限定で販売し、遊休資産の活用に支援のおかげ。商店街全体の励みになる」と喜びを語った。そのうえで、「これからも地域に愛される商店街づくりを進めていきたい」と今後の抱負を述べた。

キラキラ橘商店街で、感謝状を手に笑顔を見せる鈴木理事長(左)と大和事務局長

経産省内で行われた表彰式にて。赤澤大臣を中央に、キラキラ橘商店街の大和事務局長(右)とつながる橘の大木徹理事（全国商店街振興組合連合会提供）

客層の獲得に成功したと高く評価された。

7月10日に行われた表彰式では、赤澤亮正経済産業大臣から感謝状が贈られた。

大和和道事務局長は、「商店街役員や加盟店、関係団体、行政など、多くの皆様のご支援のおかげ。商店街

読谷村と「やちむん祭」

来店1200人超え

やちむん沖縄の方言で焼き物の数々。シーサーの器には「オス」と「メス」がある

「うつわのわ田」では6月27日から7月5日まで、沖縄県読谷村役場と共催で「読谷村のやちむん祭」を実施した。

店内には23工房が手掛けた品々が並び、期間中の来店者は1200人を超えた。商店街の物販店や飲食店を利用する姿も多く見られた。

山下商店街では公式サイトで情報を発信するなどして協力した。

TOSHINREN-information

東京都内の空き店舗情報を取りまとめたポータルサイト『TOKYO商店街空き店舗ナビ』

◆空き店舗や貸事務所を地図上、「地域」「駅」「業種」から検索できます
◆物件情報には近隣商店街名が表示されます
◆物件情報は大手不動産業者登録のものなので安心です
◆情報は最新版かつリアルタイムで把握できます

などなど、お役立ち機能アリなうえ、必要な情報満載です
ぜひご利用ください！

◀トップページ
コンテンツメニューがひと目でわかるシンプルレイアウト

◀物件情報ページ
アイコンクリックで対象物件を表示

TOKYO 商店街空き店舗ナビ
ご存じですかー?!

バナー掲示の協力商店街をまだまだ募集中！
TOKYO商店街空き店舗ナビ

問い合わせ：東京都商店街振興組合連合会/03-3542-0231　URL：https://akitenpo.tokyo　スマートフォンからはこちら▲